

## 平成21年度 継続評価書

研究機関	<u>三菱電機(株)</u> 、(株)日立製作所、(株)パスコ、 (株)横須賀テレコムリサーチパーク
研究開発課題	ユビキタス・プラットフォーム技術の研究開発 (ユビキタス空間情報基盤技術)
研究開発期間	平成 20 ～ 22 年度
代表研究責任者	田中 敦

■ 総合評価 : 適(適/条件付き適/不適の3段階評価)

■ 総合評価点 : 29点

(総論)

- ・ 当初計画に沿って研究開発が進められている。
- ・ プロジェクト終了後の当該研究開発成果の実用化・商用化に計画通り取り組んで欲しい。

(コメント)

- 目標の数値にとらわれず、遠慮無く対外活動(特許出願、学会発表、標準化提案等)を行っていただくことを期待する。
- 本年度までの成果に引き続き、広く一般の方々に役立つ技術であるという視点に立ったデモや報道発表、研究発表を実施していただきたい。
- 先日発生したハイチ大地震のような大規模震災が発生した際に、本研究成果がどのように活用され役に立つことができるかを示すことで、有用性をアピールして欲しかった。
- 受託者の各企業においては、より一層、成果を必ず実用化・商用化するという強い意志を持ってプロジェクトに取り組んで欲しい。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況

(SABCD の5段階評価) : 評価A

評価点 : 7点

(総論)

- 一部当初目標を超える実績も含め、当初計画に沿った成果が出ており、当該年度の研究目標は達成している。3年計画の2年目としても十分な内容である。

(コメント)

- 成果の一つとして、複数の実証実験準備や各種デモなどが順調に実施された。
- 論文数、特許出願数、標準化提案数においても当初目標を超える実績が確認できた。
- 特に海外においては、さらに多くの成果発表を行うことが可能だったと思われる。

(2) 当該年度における研究資金使用状況

(SABCD の5段階評価) : 評価B

評価点 : 5点

(総論)

- 研究資金は、ほぼ当初の予定通りに効率的に執行されている。

(コメント)

- 妥当な執行状態であり、問題はない。
- 一部計画変更がなされているが、適切な処理がなされている。

### (3) 研究開発実施計画

(SABCD の5段階評価) : 評価B

評価点 : 6点

#### (総論)

- ・ 当該研究開発成果の実用化・商用化を見据えた、着実な計画がなされている。計画内容についても具体的に記述されており、本研究開発に期待される内容についても盛り込まれている。
- ・ より積極的な研究開発成果のアピールについても期待したい。

#### (コメント)

- 本研究開発の成果は、日常に極めて近い場所・環境で役に立つものである。実用化・商用化ではこのような視点を重視して欲しい。
- 一方で、もっと多くの特許出願や学会発表が可能と思われる。
- また空間コードに関しては、既存のサービスをうまく活用しつつ共存していく旨のスコープについて明示して欲しい。

### (4) 予算計画

(SABCD の5段階評価) : 評価B

評価点 : 5点

#### (総論)

- ・ 予算計画に無駄が無く、効率的に組まれている。また、研究開発内容に照らして妥当な額が積算されている。

#### (コメント)

- 妥当な予算計画が提示されている。
- 実用化・商用化に向けた取組についてもきちんと計画されている。

## (5) 実施体制

(SABCD の5段階評価) : 評価B

評価点 : 6点

### (総論)

- ・ 研究目標、およびその後の実用化・商用化を実現する上でバランスのとれた組織構成になっている。
- ・ ユビキタス・プラットフォーム技術の他の2プロジェクト、及びプロジェクト内の連携効果が十分出るよう期待したい。

### (コメント)

- 外部委員会においては、メンバーを産学官バランスよく配置させ、かつ積極的に運営することで有効に機能させていると認められる。
- ユビキタス・プラットフォーム技術の他の2プロジェクトとの連携については、技術の相互確認等、さらなる具体化を期待したい。
- 技術開発の観点からも、実用化・商用化からも、受託者各企業の強みがより強調されるとよいと思われる。